

平成 15(2003)年 研究実績

【論文】

- 1) GLUFOSINATE POISONING AND ANALYSIS USING BIOLOGICAL SAMPLES.
Jpn. J. Forensic Toxicol. **21**, 1-19, 2003.
Yasushi Hori.
Department of Hospital Pharmacy, Niigata City General Hospital.
- 2) Toxicokinetics of DL-glufosinate enantiomer in human BASTA[®] poisoning.
Biol. Pharm. Bull. **26**, 540-543, 2003.
Yasushi Hori^{1,2}, Toshiharu Tanaka³, Manami Fujisawa², and Kenji Shimada¹.
Department of Analytical Chemistry, Niigata University of Pharmacy and Applied Life Sciences¹,
Department of Hospital Pharmacy, Niigata City General Hospital²,
Emergency and Critical Care Medical Center, Niigata City General Hospital³.
- 3) Determination of the herbicide glyphosate and its metabolite in biological specimens by gas chromatography mass spectrometry—A case of poisoning by Roundup[®] herbicide fluid.
J. Anal. Toxicol. **27**, 162-166, 2003.
Yasushi Hori¹, Manami Fujisawa², Kenji Shimada¹, and Yasuo Hirose³.
Department of Analytical Chemistry, Niigata University of Pharmacy and Applied Life Sciences¹,
Department of Hospital Pharmacy, Niigata City General Hospital²,
Emergency and Critical Care Medical Center, Niigata City General Hospital³.
- 4) Rapid Determination of Total Bromide in Human Serum Using Energy Dispersive X-ray Spectrometer.
Biol Pharm Bull. **26**, 457-461, 2003.
Hiroko Tanaka¹, Mariko Nakajima¹, Manami Fujisawa¹, Masatoshi Kasamaki^{1,2}, Yasushi Hori¹, Hideto Yoshikawa² and Shuji Kitagawa¹.
Department of Hospital Pharmacy, Niigata City General Hospital¹,
Faculty of Pharmaceutical Sciences, Niigata University of Pharmacy and Applied Life Sciences²,
Department of Pediatrics, Niigata City General Hospital³.
- 5) 診断・治療のポイントとピットフォール-薬物・毒物分析からのアクセス-。
救急医学. **27**, 911-913, 2003.
堀 寧。
新潟市民病院薬剤部。
- 6) 病院薬剤師が行う中毒分析（機器分析）-分析が有用な中毒起因物質の分析法とその応用例-。
日病薬誌 **40**, 147-150, 2004。
堀 寧, 藤澤真奈美, 伊藤美香, 大関暢, 小田明, 勝山新一郎。
新潟市民病院薬剤部。
- 7) 臨床薬毒物分析による救急医療への取り組み－服毒物の同定と治療方針への寄与－。
Pharmacy Today **16**, 35-39, 2003。
堀 寧, 藤澤真奈美, 中嶋真理子, 大関暢, 小田明, 勝山新一郎。
新潟市民病院薬剤部。

【学会発表】

- 1) 新潟県病院薬剤師会学術講演会. 2003/1/17(新潟市).
薬毒物中毒分析と救急医療の取り組み.
藤澤真奈美.
新潟市民病院薬剤部.
- 2) 日本病院薬剤師会関東ブロック第 33 回学術大会. 2003/8/30-31(新潟市).
薬毒物分析支援データベース（分析農薬くん）の開発.
笠巻雅俊¹, 堀 寧¹, 黒木由美子², 吉岡敏治³, 藤澤真奈美¹, 大関暢¹, 小田 明¹, 勝山新一郎¹.
新潟市民病院薬剤部¹, (財)日本中毒情報センター², 大阪府立病院救急部³.
- 3) 日本病院薬剤師会関東ブロック第 33 回学術大会. 2003/8/30-31(新潟市).
臨床薬毒物分析による救急医療への取り組み－服毒物の同定と治療方針への寄与－.
堀 寧, 藤澤真奈美, 中嶋真理子, 伊藤美香, 大関暢, 小田明, 勝山新一郎.
新潟市民病院薬剤部.
- 4) 日本病院薬剤師会関東ブロック第 33 回学術大会. 2003/8/30-31(新潟市).
エネルギー分散型蛍光 X 線分析法による血清中総 Bromide の迅速定量.
田中裕子¹, 中嶋真理子¹, 藤澤真奈美¹, 堀 寧¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 北河修治².
新潟市民病院薬剤部¹, 新潟薬科大学薬剤学研究室².
- 5) 日本病院薬剤師会関東ブロック第 33 回学術大会. 2003/8/30-31(新潟市).
LST 陽性の薬剤と症状の検討. .
高山真理子, 継田雅美, 小田明, 勝山新一郎.
新潟市民病院薬剤部.
- 6) 日本病院薬剤師会関東ブロック第 33 回学術大会. 2003/8/30-31(新潟市).
インシデントレポート解析による服薬指導の成果.
山田徹, 磯貝隆, 小田明, 勝山新一郎.
新潟市民病院薬剤部.
- 7) 日本病院薬剤師会関東ブロック第 33 回学術大会. 2003/8/30-31(新潟市).
小児に対する塩酸バンコマイシン注投与例の検討. .
継田雅美, 伊藤美香, 伊藤敦子, 田中裕子, 中嶋真理子, 山田徹, 小田明, 勝山新一郎.
新潟市民病院薬剤部.
- 8) 日本病院薬剤師会関東ブロック第 33 回学術大会. 2003/8/30-31(新潟市).
1 日 1 回投与法におけるアルベカシンの目標血中濃度について.
継田雅美, 伊藤美香, 伊藤敦子, 田中裕子, 中嶋真理子, 山田徹, 小田明, 勝山新一郎.
新潟市民病院薬剤部.
- 9) 日本病院薬剤師会関東ブロック第 33 回学術大会. 2003/8/30-31(新潟市).
当院で麻薬管理システム（施用指示・記録・返却の流れ）.
高野恵美子.
新潟市民病院薬剤部.
- 10) 日本病院薬剤師会関東ブロック第 33 回学術大会. 2003/8/30-31(新潟市).

抗癌剤, 注射薬監査.

田中裕子, 伊藤敦子, 福井かおる, 磯貝隆, 小田明, 勝山新一郎.

新潟市民病院薬剤部.

- 11) 日本病院薬剤師会関東ブロック第 33 回学術大会. 2003/8/30-31(新潟市).

抗 MRSA 薬の投与期間と査定状況.

伊藤美香, 継田雅美, 磯貝隆, 小田明, 勝山新一郎.

新潟市民病院薬剤部.

- 12) 第 42 回全国自治体病院学会. 2003/8/30-31.

抗菌薬使用量減少の要因について.

継田雅美¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 吉川博子², 金沢宏³, 藤井青⁴.

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院感染症科², 新潟市民病院心臓血管外科³, 新潟市民病院眼科⁴.

- 13) 第 42 回全国自治体病院学会. 2003/8/30-31.

インシデントレポート解析による服薬指導実践の成果.

山田徹, 磯貝隆, 小田明, 勝山新一郎.

新潟市民病院薬剤部.

- 14) 平成 15 年度 城西大学薬学部大学院特別講義. 2004/1/10(埼玉県).

「救急医療現場で行う役毒物分析の実態と薬剤師の展望」.

堀 寧. 新潟市民病院薬剤部.

- 15) 第 18 回日本中毒学会東日本地方会. 2004/1/24(新潟市).

重症メタノール中毒の 1 例.

伊関憲¹, 市川一誠², 川前金幸¹, 田勢長一郎³, 堀 寧⁴.

山形大学医学部救急医学¹, 山形大学医学部循環・呼吸・腎臓分野², 県立福島医大救急部³, 新潟市民病院薬剤部⁴.

- 16) 第 18 回日本中毒学会東日本地方会. 2004/1/24(新潟市).

ペルメトリン中毒の 1 例.

田中敏春¹, 広瀬保夫¹, 宮島衛¹, 熊谷謙¹, 木下秀則¹, 飯沼泰史¹, 山崎芳彦¹, 堀 寧², 藤澤真奈美².

新潟市民病院救命救急センター¹, 新潟市民病院薬剤部².

- 17) 第 18 回日本中毒学会東日本地方会. 2004/1/24(新潟市).

5-MeO-DIPT 中毒の 1 分析例.

宮島衛¹, 田中敏春¹, 熊谷謙¹, 木下秀則¹, 広瀬保夫¹, 飯沼泰史¹, 山崎芳彦¹, 堀 寧², 藤澤真奈美², 伊藤美香², 大関暢².

新潟市民病院救命救急センター¹, 新潟市民病院薬剤部².

平成 16(2004)年 研究実績

【論文】

- 1) Rapid analysis of 4-O-methylpyridoxine in the serum of patients with Ginkgo biloba seed poisoning by ion-pair high-performance liquid chromatography.

Biol. Pharm. Bull. **27**, 486-491, 2004.

Yasushi Hori^{1,2}, Manami Fujisawa^{1,2}, Kenji Shimada¹, Akira Oda², Shinichiro Katsuyama², and Keiji Wada³.

Department of Analytical Chemistry, Niigata University of Pharmacy and Applied Life Sciences¹.

Department of Hospital Pharmacy, Niigata City General Hospital²,

Department of Hygienic Chemistry, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Health Sciences University of Hokkaido³.

【学会発表】

- 1) 第 43 回新潟化学療法研究会. 2004/6/12.

アルベカシンの TDM を行った血液透析の一例.

継田雅美¹, 池田晴夫², 大森さおり², 菊地正俊², 吉田和清².

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院腎・膠原病科².

- 2) 第 18 回東北救急医学会総会. 2004/6/19(山形市).

血清中 4-O-methylpyridoxine(MPN)の迅速分析法開発 – 銀杏種子中毒の迅速診断 –.

堀 寧¹, 藤澤真奈美¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 嶋田健次², 和田啓爾³.

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟薬科大学薬学部薬品分析化学研究室², 北海道医療大学薬学部衛生化学講座³.

- 3) 第 26 回日本中毒学会総会. 2004/7/9-10(広島).

血清中パラコート・ジクワットの迅速分析法.

藤澤真奈美¹, 伊藤美香¹, 堀 寧¹, 大関暢¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 広瀬保夫².

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急センター².

- 4) 第 26 回日本中毒学会総会. 2004/7/9-10(広島).

メタノール中毒の画像所見.

伊関憲¹, 永野達也¹, 栗原正人¹, 土田浩之¹, 川前金幸¹, 田勢長一郎², 堀 寧³.

山形大学医学部救急医学¹, 県立福島医大救急部², 新潟市民病院薬剤部³.

- 5) 第 26 回日本中毒学会総会. 2004/7/9-10(広島).

血清中 4-O-methylpyridoxine(MPN)の迅速分析法開発 – 銀杏種子中毒の迅速診断 –.

堀 寧¹, 藤澤真奈美¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 嶋田健次², 和田啓爾³.

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟薬科大学薬学部薬品分析化学研究室², 北海道医療大学薬学部衛生化学講座³.

- 6) 第 26 回日本中毒学会総会. 2004/7/9-10(広島).

腎不全を呈したモノフルオール酢酸ナトリウム(殺鼠剤フラトール)の 1 例.

松浦文彦¹, 飯沼泰史¹, 広瀬保夫¹, 宮島衛¹, 田中敏春¹, 熊谷謙¹, 山崎芳彦¹, 藤澤真奈美², 堀 寧².

新潟市民病院救命救急センター¹, 新潟市民病院薬剤部².

- 7) 日本病院薬剤師会関東ブロック第 34 回学術大会. 2004/8/28-29(つくば市).

血清中 4-O-methylpyridoxine(MPN)の迅速分析法開発 – 銀杏種子中毒の迅速診断 –.

堀 寧¹, 藤澤真奈美¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 嶋田健次², 和田啓爾³.

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟薬科大学薬学部薬品分析化学研究室², 北海道医療大学薬学部衛生化学講座³.

- 8) 日本病院薬剤師会関東ブロック第 34 回学術大会. 2004/8/28-29(つくば市).

血清中パラコート・ジクワットの迅速分析法-パラコート含有除草剤中毒症例への応用も含めて-.

伊藤美香¹, 藤澤真奈美¹, 堀 寧¹, 大関暢¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 吉岡敏治².

新潟市民病院薬剤部¹, 大阪府立病院救急部².

- 9) 日本病院薬剤師会関東ブロック第 34 回学術大会. 2004/8/28-29(つくば市).

ガスクロマトグラフ/質量分析計を用いた有機リン、カーバメート系農薬 17 成分の一斉スクリーニング分析.

笠巻雅俊¹, 堀 寧¹, 藤澤真奈美¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 黒木由美子², 吉岡敏治³.

新潟市民病院薬剤部¹, (財) 日本中毒情報センター², 大阪府立病院救急部³.

- 10) 日本病院薬剤師会関東ブロック第 34 回学術大会. 2004/8/28-29(つくば市).

急性アセトアミノフェン中毒の解毒・拮抗剤アセチルシステインの適正使用について～服用量情報で投与するのはどのくらい正しいか?～.

高山真理子¹, 中島真理子¹, 藤沢真奈美¹, 堀 寧¹, 磯貝隆¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 広瀬保夫², 黒木由美子³, 吉岡敏治⁴.

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急センター², (財) 日本中毒情報センター³, 大阪府立病院救急部⁴.

- 11) 第 51 回日本化学療法・第 53 回日本感染症学会東日本合同総会. 2004/10/21.

偽膜性腸炎・MRSA 腸炎再発例の検討-バンコマイシン散投与期間との関係-.

継田雅美¹, 吉川博子².

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院感染症科².

- 12) 第 19 回日本中毒学会東日本地方会. 2005/2/5(東京コンファランスホール・品川).

LC/MS(ESI)法を用いた血清中アセトアミノフェン、サリチル酸、テオフィリン、ブロムワレリル尿素の一斉スクリーニング分析法.

堀 寧¹, 藤澤真奈美¹, 伊藤美香¹, 大関暢¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 広瀬保夫².

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急センター².

- 13) 第 19 回日本中毒学会東日本地方会. 2005/2/5(東京コンファランスホール・品川).

原因不明の意識障害を示した患者がエチレングリコール中毒であったことを同定し得た中毒分析例.

伊藤美香¹, 藤澤真奈美¹, 堀 寧¹, 大関暢¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 宮島 衛², 広瀬保夫².

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急センター².

- 14) 新潟県薬剤師会学術講演会, 2005/2/18(新潟グランドホテル).

急性中毒医療の標準化における薬剤師の取り組み-地域における薬毒物簡易分析講習会の紹介-.

堀 寧.

新潟市民病院薬剤部.

- 15) 第 20 回日本環境感染学会総会. 2005/2/25.

Clostridium Difficile 腸炎アウトブレイクの要因.

継田雅美.

新潟市民病院薬剤部.

平成 17(2005)年 研究実績

【著書】

- 1) 中毒症のすべて－いざという時に役立つ、的確な治療のために－.

黒川 頤 編, 永井書店, 大阪, 2006. pp. 29-45.

堀 寧.

新潟市民病院薬剤部.

- 2) A Handbook of Practical Analysis.

Osamu Suzuki. and Kanako Watanabe Editors, Springer-Verlag Berlin Heidelberg, New York, 2006, pp. 545-557.

Yasushi Hori and Manami Fujisawa.

Department of Hospital Pharmacy, Niigata City General Hospital.

【論文】

- 1) Rapid analysis method for paraquat and diquat in the serum using ion-pair high-performance liquid chromatography.

Biol. Pharm. Bull. **28**, 725-728, 2005.

Mika Ito¹, Yasushi Hori¹, Manami Fujisawa¹, Akira Oda¹, Shinichiro Katsuyama¹, Yasuo Hirose², and Toshiharu Yoshioka³.

Department of Hospital Pharmacy, Niigata City General Hospital¹,

Emergency and Critical Care Medical Center, Niigata City General Hospital²,

Osaka General Medical Center³.

- 2) 検知管により早期診断し、かつ被殻病変を画像診断し得たメタノール中毒の 1 例.

日救急医学会誌. **16**, 175-181, 2005.

伊関憲¹, 市川一誠², 永野達也¹, 栗原正人¹, 堀 寧³, 土田浩之¹, 川前金幸¹.

山形大学医学部救急医学¹, 山形大学医学部循環・呼吸・腎臓分野², 県立福島医大救急部³, 新潟市民病院薬剤部⁴.

- 3) 急性アセトアミノフェン中毒患者の推定服用量と重症化の関係－新潟市民病院 39 症例の調査より－.

日病薬誌, **41**, 720-722, 2005.

高山真理子¹, 中嶋真理子¹, 藤澤真奈美¹, 堀 寧¹, 磯貝隆¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 広瀬保夫², 吉岡敏治³.

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急センター², 大阪府立急性期・総合医療センター³.

- 4) 急性中毒における臨床薬毒物分析.

新潟県薬事情報 **119**, 3-8, (2005/12).

堀 寧.

新潟市民病院薬剤部.

- 5) Method for Screening and Quantitative Determination of Serum Levels of Salicylic acid, Acetaminophen, Theophylline, Phenobarbital, Bromvalerylurea, Pentobarbital and Amobarbital by Liquid Chromatography/Electrospray Mass Spectrometry.

Biol. Pharm. Bull. **29**, 7-13, 2006.

Yasushi Hori^{1,2}, Manami Fujisawa^{1,2}, Kenji Shimada¹, Yasuo Hirose³. and Toshiharu Yoshioka⁴.

Department of Analytical Chemistry, Niigata University of Pharmacy and Applied Life Sciences¹,
Department of Hospital Pharmacy, Niigata City General Hospital²,
Emergency and Critical Care Medical Center, Niigata City General Hospital³,
Osaka General Medical Center⁴.

6) 当院の Infection Control Team の活動について～感染症治療の観点から～.

環境感染学会誌 **21**, 210-214. 2005.

吉川博子¹, 齊藤英樹², 内藤真一³, 金沢宏⁴, 今井由美子⁵, 渋谷宏行⁶, 継田雅美⁷, 勝山新一郎⁷, 今井昭雄⁸.

新潟市民病院感染症科¹, 新潟市民病院外科², 新潟市民病院小児外科³, 新潟市民病院心臓血管外科⁴, 新潟市民病院検査科⁵, 新潟市民病院病理診断科⁶, 新潟市民病院薬剤部⁷, 新潟市民病院院長⁸.

7) Clostridium difficile 腸炎再発の要因.

環境感染学会誌 **21**, 12-16. 2006.

継田雅美¹, 今井由美子², 吉川博子³.

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院検査科², 新潟市民病院感染症科³.

【学会発表】

1) 第48回日本糖尿病学会年次学術集会. 2005/5/12.

当院における高齢者糖尿病患者の薬物治療の実態調査.

山田徹.

新潟市民病院薬剤部.

2) 第19回東北救急医学会総会. 2005/6/25, 仙台市.

中毒分析が非常に有用であった急性メタノール中毒の2例.

田中敏春¹, 宮島衛¹, 熊谷謙¹, 広瀬保夫¹, 飯沼泰史¹, 山崎芳彦¹, 堀 寧².

新潟市民病院救命救急センター¹, 新潟市民病院薬剤部².

3) 第19回東北救急医学会総会. 2005/6/25, 仙台市.

アセトアミノフェン検出キットの有用性に関する調査.

藤澤真奈美¹, 山崎佳苗², 伊藤美香¹, 堀 寧¹, 大関暢¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 若林広行².

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟薬科大学薬学部薬学科臨床薬剤治療学教室².

4) 第27回日本中毒学会 総会. 2005/7/8-9, 川崎市.

薬毒物分析で確定診断した中毒症例の検討.

宮島衛¹, 本田博之¹, 関口博史¹, 田中敏春¹, 熊谷謙¹, 広瀬保夫¹, 飯沼泰史¹, 山崎芳彦¹, 堀 寧², 伊藤美香², 藤澤真奈美².

新潟市民病院救命救急センター¹, 新潟市民病院薬剤部².

5) 第27回日本中毒学会総会. 2005/7/8-9, 川崎市.

LC/MS(ESI)法を用いた血清中サリチル酸, アセトアミノフェン, テオフィリン, ブロムワレリル尿素とバルピタール類の一斉スクリーニング分析法.

堀 寧¹, 藤澤真奈美¹, 伊藤美香¹, 大関暢¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 広瀬保夫², 黒木由美子³, 吉岡敏治⁴.

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急センター², (財)日本中毒情報センター³, 大阪府立急性期・総合医療センター⁴.

6) 第27回日本中毒学会総会. 2005/7/8-9, 川崎市.

当院の急性アセトアミノフェン中毒－服用量情報で N-アセチルシステインを投与したらどのくらい正しかったか？－.

藤澤真奈美¹, 高山真理子¹, 堀 寧¹, 磯貝隆¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 広瀬保夫², 山崎芳彦².

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急センター².

- 7) 日本病院薬剤師会関東ブロック第 35 回学術大会. 2005/8/27-28, 千葉県.

アセトアミノフェン検出キットの有用性について.

山崎佳苗¹, 藤澤真奈美², 堀 寧², 勝山新一郎², 若林広行¹.

新潟薬科大学薬学部薬学科臨床薬剤治療学教室¹, 新潟市民病院薬剤部².

- 8) 日本病院薬剤師会関東ブロック第 35 回学術大会. 2005/8/27

当院における Cypher ステント留置患者のパナルジンの副作用調査.

山田徹¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 小澤拓也², 小田弘隆².

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院循環器科².

- 9) 日本病院薬剤師会関東ブロック第 35 回学術大会. 2005/8/27

発熱性好中球減少症における硫酸アルベカシンの有用性.

継田雅美.

新潟市民病院薬剤部.

- 10) 日本 TDM 学会・第 25 回 TDM セミナー. 2005/11/19, 新潟市.

中毒医療における TDM とその実際.

堀 寧. 新潟市民病院薬剤部.

- 11) 第 19 回日本エイズ学会学術集会. 2005/12/1.

チームとしての HIV 診療における薬剤師のかかわり-服薬支援を中心としたかかわり-.

山田徹¹, 藤沢真奈美¹, 内藤厚子², 吉川博子³.

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院看護部², 新潟市民病院感染症科³.

- 12) 第 20 回日本中毒学会東日本地方会. 2006/2/4, 東京都.

地域で行う簡易薬毒物分析講習会（新潟編）.

堀 寧¹, 藤澤真奈美¹, 広瀬保夫², 山崎芳彦², 本多忠幸³, 遠藤裕³, 伊関憲⁴, 小池薫⁵.

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急センター², 新潟大学医学部附属病院救急部³, 山形大学医学部附属病院

救急部⁴, 東北大学医学部附属病院救急部⁵.

- 13) 第 21 回日本環境感染学会学術集会 2006/2/24.

抗 MRSA 薬 TDM による感染対策-テイコプラニン投与例の検討-.

継田雅美.

新潟市民病院薬剤部.

- 14) 第 139 回新潟薬学会. 2006/3/4.

当院におけるヒューマログミックス 50 注カート 3 回打ちの使用経験.

山田徹¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 小林千昌², 田村紀子².

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院内分泌代謝科².

平成 18(2006)年 研究実績

【論文】

- 1) 薬剤性浮腫.
総合臨床. **55**, 2695-2700, 2006.
矢部正浩¹, 野本優二¹, 山添優¹, 堀 寧².
新潟市民病院総合診療科¹, 新潟市民病院薬剤部².
- 2) 中毒患者対応のスタンダード (中毒起因物質の特定) .
EMERGENCY CARE, **19**, 1020-1026, 2006.
堀 寧.
新潟市民病院薬剤部.
- 3) 中毒患者に対する病院薬剤師の役割－薬毒物分析、情報、治療薬－.
社会薬学. **25**, 41-50, 2006.
堀 寧.
新潟市民病院薬剤部.
- 4) 特集 キミは中毒に対応できるか－中毒, 集団中毒, 化学災害. 薬毒物分析ってどんな意味あるの?－臨床薬毒物分析業務－.
ER マガジン **3**, 499-505, 2006.
堀 寧.
新潟市民病院薬剤部.
- 5) Ginkgo nut intoxication in a 2-year-old male.
Pediatr Neurol. **35**, 275-6, 2006.
Hasegawa S¹, Oda Y¹, Ichiyama T¹, Hori Y², Furukawa S¹.
Department of Allergy, Yamaguchi University, School of Medicine¹.
Department of Hospital Pharmacy, Niigata City General Hospital².
- 6) High performance Liquid Chromatographic Determination of Ginkgotoxin and Ginkgotoxin-5'-glucoside in Ginkgo Biloba Seeds.
Journal of Liquid Chromatography & Related Technologies. **29**, 605-616, 2006.
Yoshimura T¹, Udaka N¹, Morita J¹, Jinyu Z¹, Sasaki K¹, Kobayashi D¹, Wada K¹, Hori Y².
Department of Hygienic Chemistry, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Health Sciences University of Hokkaido¹,
Department of Hospital Pharmacy, Niigata City General Hospital².
- 7) Free fatty acid concentrations in gallbladder bile collected from Chilean patients with gallstones.
Clinical Biochemistry **39**, 410-413, 2006.
Yasuo Tsuchiya¹, Ivan Serra^{2,3}, Yasushi Hori⁴, Alfonso Calvo³, Rodrigo Villegas², Norio Shibuya⁵, Kazutoshi Nakamura¹, Masaharu Yamamoto¹.
Department of Community Preventive Medicine, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences¹,
School of Public Health, Faculty of Medicine, University of Chile²,

Ministry of Health, Sotero del Rio Hospital³,
Department of Hospital Pharmacy, Niigata City General Hospital⁴,
Niigata College of Medical Technology⁵.

【学会発表】

- 1) 第 63 回麻酔科懇話会. 2006/5, 新潟市.
早期に胃内容を大量に回収したにもかかわらず遅発性に呼吸抑制をきたしたグルホシネート中毒の 2 症例.
本田博之¹, 吉田千絵¹, 関口博史¹, 宮島衛¹, 田中敏春¹, 熊谷謙¹, 広瀬保夫¹, 飯沼泰史¹, 山崎芳彦¹, 堀 寧², 藤澤真奈美².
新潟市民病院救命救急センター¹, 新潟市民病院薬剤部².
- 2) 第 45 回新潟化学療法研究会. 2006/6/17.
耐性緑膿菌に対するアミカシンの TDM.
継田雅美¹, 吉川博子².
新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院感染症科².
- 3) 第 20 回東北救急医学会総会.2006/6/24, 新潟市.
急性中毒医療に役立つ簡易薬毒物分析講習会.
堀 寧¹, 藤澤真奈美¹, 広瀬保夫², 山崎芳彦², 本多忠幸³, 遠藤裕³.
新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急センター², 新潟大学医学部付属病院救急部³.
- 4) 第 45 回新潟化学療法研究会. 2006/6/17.
透析患者のバンコマイシン TDM~1 回 2g 投与した一症例.
田中裕子¹, 高山真理子¹, 継田雅美¹, 伊藤敦子¹, 笠巻雅俊¹, 山田徹¹, 池田忠雄¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 吉川博子², 長谷川尚³.
新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院感染症科², 新潟市民病院腎臓・リウマチ科³.
- 5) 第 28 回日本中毒学会総会. 2006/7/7-8, 松山市.
生体試料中ピアラホス及び、その代謝活性化物 L-グルホシネートの HPLC 分析.
笠巻雅俊¹, 堀 寧¹, 藤澤真奈美¹, 伊藤美香¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 関口博史², 広瀬保夫².
新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急センター².
- 6) 第 28 回日本中毒学会総会. 2006/7/7-8, 松山市.
静脈内投与によるクレゾール中毒の一例.
佐々木由香¹, 藤澤真奈美², 堀 寧², 熊谷謙¹, 本田博之¹, 関口博史¹, 宮島衛¹, 田中敏春¹, 広瀬保夫¹, 飯沼泰史¹, 山崎芳彦¹.
新潟市民病院救命救急センター¹, 新潟市民病院薬剤部².
- 7) 第 28 回日本中毒学会総会. 2006/7/7-8, 松山市.
早期に胃内容を大量に回収したにもかかわらず遅発性に呼吸抑制をきたしたグルホシネート中毒の 2 症例.
本田博之¹, 吉田千絵¹, 関口博史¹, 宮島衛¹, 田中敏春¹, 熊谷謙¹, 広瀬保夫¹, 飯沼泰史¹, 山崎芳彦¹, 堀 寧², 藤澤真奈美².
新潟市民病院救命救急センター¹, 新潟市民病院薬剤部².
- 8) 第 61 回医薬品相互作用研究会シンポジウム・第 140 回新潟薬学会合同会議.2006/7/22-23, 新潟市.
生体試料中ピアラホス及び、その代謝活性化物 L-グルホシネートの HPLC 分析.
笠巻雅俊¹, 堀 寧¹, 藤澤真奈美¹, 伊藤美香¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 関口博史², 広瀬保夫².
新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急センター².
- 9) 第 61 回医薬品相互作用研究会シンポジウム・第 140 回新潟薬学会合同会議.2006/7/22-23, 新潟市.

当院南 4 階病棟薬剤管理指導業務における持参薬管理の現状と今後の課題。

山田徹¹, 清野和夫¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 小見昌子², 小林文子², 渡部邦恵², 成田操², 若月美香².
新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院看護部².

10) 第 16 回日本医療薬学会年会.2006/9/30-10/1.

薬剤管理指導業務における持参薬管理の現状と今後の課題。

山田徹.

新潟市民病院薬剤部.

11) 第 16 回日本医療薬学会年会. 2006/9/30-10/1.

塩酸バンコマイシン注高用量投与例のまとめ.-TDM解析による予測値との比較-

継田雅美¹, 高山真理子¹, 笠巻雅俊¹, 伊藤敦子¹, 田中裕子¹, 山田徹¹, 池田忠雄¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 吉川博子².

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院感染症科².

12) 第 21 回日本中毒学会東日本地方会.2007/1/27, 東京都.

バラシクロビル内服によりアシクロビル血漿中濃度異常高値となり意識障害を呈した 85 歳女性例。

河久順志¹, 野本優二¹, 矢部正浩¹, 山添優¹, 堀 寧², 藤澤真奈美².

新潟市民病院総合診療科¹, 新潟市民病院薬剤部².

13) 第 21 回日本中毒学会東日本地方会. 2007/1/27, 東京都.

エタノール療法を行ったメタノール含有有機リン剤中毒の 1 例～メタノール、エタノール、蟻酸の経時的分析結果について～。

荒川武蔵¹, 広瀬保夫¹, 関口博史¹, 宮島衛¹, 田中敏春¹, 熊谷謙¹, 山崎芳彦¹, 堀 寧², 藤澤真奈美².

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急センター².

14) 第 22 回日本環境感染症学会. 2007/2/23-24.

抗菌薬適正使用への取り組み-カルバペネム系薬剤専用伝票の運用-.

継田雅美¹, 伊藤敦子¹, 今井由美子², 大崎角栄³, 佐藤栄子³, 内藤真一⁴, 塚田弘樹⁵, 原口通比古⁶.

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院検査科², 新潟市民病院看護部³, 新潟市民病小児外科⁴, 新潟市民病院感染症科⁵, 新潟市民病院呼吸器内科⁶.

15) 第 18 回重症感染症研究会. 2007/3/10.

当院における耐性緑膿菌の現状と感染症例の検討。

継田雅美¹, 今井由美子², 塚田弘樹³.

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院検査科², 新潟市民病院感染症科³.

平成 19(2007)年 研究実績

【論文】

- 1) 不穏状態, 舞踏病様の不随意運動を呈したジフェンヒドラミン含有睡眠薬による急性中毒の 2 例. 中毒研究 **20**, 125-129, 2007.
菖蒲川紀久子¹, 広瀬保夫¹, 堀 寧², 伊藤美香², 藤澤真奈美², 熊谷謙¹.
新潟市民病院救命救急センター¹, 新潟市民病院薬剤部².
- 2) 急性中毒医療におけるアセトアミノフェン検出キット®の臨床的有用性—新潟市民病院 28 症例の調査より—. YAKUGAKU ZASSHI. **128**, 159-163, 2008.
高山真理子¹, 藤澤真奈美¹, 堀 寧¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 広瀬保夫², 山崎佳苗³, 若林広行³.
新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急センター², 新潟薬科大学薬学部薬学科臨床薬剤治療学教室³.
- 3) 血清クレアチニン値が正常範囲内の高齢者が valaciclovir を内服し意識障害を呈した 1 例.
内科 **101**, 387-390, 2008.
河久順志¹, 野本優二¹, 矢部正浩¹, 山添優¹, 堀 寧², 藤澤真奈美².
新潟市民病院総合診療科¹, 新潟市民病院薬剤部².

【学会発表】

- 1) 第 49 回日本糖尿病学会年次学術集会. 2007/5/26-27.
ヒューマログミックス 50 注カート 3 回打ちの使用経験.
山田徹¹, 小林千昌², 田村紀子².
新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院内分泌代謝科².
- 2) 第 46 回新潟化学療法研究会. 2007/6/9.
AUC/MIC を考慮した VCM の TDM 解析に向けて-リネゾリドへの変更症例の検討-.
伊藤敦子, 継田雅美.
新潟市民病院薬剤部.
- 3) 第 46 回新潟化学療法研究会. 2007/6/9.
ピアペネム使用症例の検討.
継田雅美¹, 鈴木信明², 小原竜軌², 塚田弘樹².
新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院感染症科².
- 4) 第 12 回日本緩和医療学会. 2007/6/22-23. 岡山.
薬薬連携による“痛みどめ記録”の運用.
田中裕子^{1, 2}, 高山真理子^{1, 2}, 高野恵美子^{1, 2}, 伊藤美香^{1, 2}, 堀 信弥³, 片柳憲雄^{2, 4}.
新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院緩和ケアチーム², 市民調剤薬局³, 新潟市民病院外科⁴.
- 5) 医療薬学フォーラム第 15 回クリニカルファーマシーシンポジウム. 2007/7/14-15 山形
AUC/MIC を考慮した VCM の TDM 解析に向けて-リネゾリドへの変更症例の検討-.
伊藤敦子, 継田雅美, 小田明, 勝山新一郎.
新潟市民病院薬剤部.
- 6) 第 142 回新潟薬学会. 2007/7/21, 朱鷺メッセ.
急性中毒医療におけるアセトアミノフェン検出キットの臨床的有用性—新潟市民病院 28 症例の調査より—.
高山真理子¹, 藤澤真奈美¹, 堀 寧¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 広瀬保夫¹, 山崎佳苗², 若林広行³.

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急センター², 新潟薬科大学薬学部薬学科臨床薬剤治療学教室³.

- 7) 第24回日本TDM学会・学術大会. 2007/7/28-29, 金沢.

シンポジウム2 チーム医療に貢献するTDMの実際—中毒医療における薬毒物分析を介したチーム医療—.

堀 寧

新潟市民病院薬剤部

- 8) 日本病院薬剤師会関東ブロック第37回学術大会. 2007/8/25-26, 栃木県.

急性中毒医療におけるアセトアミノフェン検出キットの臨床的有用性—新潟市民病院28症例の調査より—.

高山真理子¹, 藤澤真奈美¹, 堀 寧¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 広瀬保夫², 山崎佳苗³, 若林広行³.

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急センター², 新潟薬科大学薬学部薬学科臨床薬剤治療学教室³.

- 9) 日本病院薬剤師会関東ブロック第37回学術大会. 2007/8/25-26, 栃木県.

新潟市民病院における輸液使用時の血糖コントロールのアンケート調査第一報.

山田徹¹, 伊藤敦子¹, 若月二郎¹, 磯貝隆¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 宗田聡², 田村紀子², 古田美千子³, 高井和江³, 矢部正浩⁴.

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院内分泌代謝科², 新潟市民病院医療安全管理室³, 新潟市民病院NST⁴.

- 10) 日本病院薬剤師会関東ブロック第37回学術大会. 2007/8/25-26 栃木県.

急性メタノール中毒の2症例と全血中アルコール及びギ酸濃度モニタリングの有用性.

伊藤美香¹, 藤澤真奈美¹, 堀 寧¹, 田中敏春², 荒川武蔵², 広瀬保夫², 小田明¹, 勝山新一郎¹.

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急センター².

- 11) 新潟県病院薬剤師会学術講演会. 2007/9/21, 新潟.

新潟県病院薬剤師会平成19年度学術奨励賞. 「血清中パラコート・ジクワットの迅速分析法」.

伊藤美香

新潟市民病院薬剤部

- 12) 第40回北陸信越薬剤師学術大会. 2007/11/3, 新潟.

急性アセトアミノフェン中毒における解毒拮抗剤N-アセチルシステインの適正使用に関する研究.

高山真理子¹, 藤澤真奈美¹, 堀 寧¹, 磯貝隆¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 広瀬保夫², 山崎佳苗³, 若林広行³, 黒木由美子⁴.

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急センター², 新潟薬科大学薬学部薬学科臨床薬剤治療学教室³, (財)日本中毒情報センター⁴.

- 13) 第3回医療安全/感染管理研究会. 2007/12/16.

市民病院における抗菌薬適正使用.

継田雅美.

新潟市民病院薬剤部.

- 14) 第22回日本中毒学会東日本地方会. 2008/1/12, 弘前.

服用30時間後に痙攣・心室性不整脈を再発して死亡した三環系抗うつ薬中毒例の薬物動態. 宮島衛¹, 広瀬保夫¹, 佐藤信宏¹, 永井秀哉¹, 吉田暁¹, 小林かおり¹, 林由香¹, 井ノ上幸典¹, 関口博史¹, 田中敏春¹, 熊谷謙¹, 飯沼泰史¹, 山崎芳彦¹, 堀 寧², 藤澤真奈美², 伊藤美香², 笠巻雅俊².

新潟市民病院救命救急センター¹, 新潟市民病院薬剤部².

- 15) 第22回日本中毒学会東日本地方会. 2008/1/12, 弘前.

新潟市民病院の中毒分析 9 年間のまとめ.

堀 寧¹, 藤澤真奈美¹, 伊藤美香¹, 笠巻雅俊¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 関口博史², 宮島衛², 田中敏春², 熊谷謙², 広瀬保夫², 飯沼泰史², 山崎芳彦².

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急センター².

16) 第 22 回日本中毒学会東日本地方会. 2008/1/12, 弘前.

遅れて重症化したアスピリン中毒の 1 例～経時的な血中濃度の分析から～.

吉田暁¹, 田中敏春¹, 永井秀哉¹, 佐藤信宏¹, 宮島衛¹, 広瀬保夫¹, 堀 寧², 藤澤真奈美².

新潟市民病院救命救急センター¹, 新潟市民病院薬剤部².

17) 第 143 回新潟薬学会. 2008/3/8, 新潟ユニゾンプラザ.

新潟県消防学校における救急救命士の気管挿管・薬剤投与追加講習カリキュラムに参加して～救急救命士に対するアンケート調査結果の紹介～.

田中裕子^{1, 2}, 藤澤真奈美², 堀 寧², 小田明², 勝山新一郎², 渡辺賢一¹.

新潟薬科大学臨床薬理学研究室¹, 新潟市民病院薬剤部².

18) 第 19 回重症感染症研究会. 2008/3/22.

Corynebacterium jeikeium による感染症心内膜炎にテイコプラニンの TDM が有用であった一例.

継田雅美¹, 梅香満², 高橋和義², 塚田弘樹³.

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院循環器科², 新潟市民病院感染症科³.

平成 20(2008)年 研究実績

【著書】

1) 急性中毒標準診療ガイド.

日本中毒学会編, じほう, 東京, 2008, pp. 218-223, pp. 224-229, pp. 235-238, pp. 239-244, pp. 245-250, pp. 251-255, pp. 256-260, pp. 261-264, pp. 265-269, pp. 275-280.

堀 寧.

新潟市民病院薬剤部.

【論文】

1) 救急医療・災害医療と薬剤師. 1. 救急医療 2)救急医療における薬剤師の参加とその意義.

医薬ジャーナル **44**, 1119-1125, 2008.

堀 寧.

新潟市民病院薬剤部.

2) 分析ラボ紹介-1-新潟市民病院.

中毒研究. **21**, 329-334, 2008.

堀 寧, 藤澤真奈美, 伊藤美香, 笠巻雅俊, 小田明, 勝山新一郎.

新潟市民病院薬剤部.

3) 尿中の薬物・毒物検査.

救急・集中治療 **21**, 82-86, 2009.

藤澤真奈美, 堀 寧.

新潟市民病院薬剤部

4) 新潟市民病院における高カロリー輸液使用時の血糖コントロール.

新潟市民病院医誌 **29**, 5-8, 2008.

山田徹^{1, 4}, 吉仕政代^{1, 4}, 伊藤美香^{1, 4}, 伊藤敦子¹, 宗田聡², 田村紀子³, 矢部正浩⁴.

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院内分泌代謝科², 万代内科クリニック³, 新潟市民病院 NST⁴.

【学会発表】

1) 第 51 回日本糖尿病学会年次学術大会. 2008/5/22-24.

新潟市民病院における高カロリー輸液使用時の血糖コントロールについて考える-薬剤師としてできること-.

山田徹.

新潟市民病院薬剤部.

2) 第 30 回日本中毒学会総会. 2008/7/11-12, 和歌山.

服用情報が不明であった重症アセトアミノフェン中毒の 1 例.

吉田暁¹, 番場景子¹, 宮島衛¹, 佐藤信宏¹, 永井秀哉¹, 広瀬保夫¹, 藤澤真奈美², 堀 寧².

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急・循環器脳卒中センター².

3) 第 30 回日本中毒学会総会. 2008/7/11-12, 和歌山.

新潟市民病院の中毒分析 9 年間のまとめ.

堀 寧¹, 藤澤真奈美¹, 伊藤美香¹, 笠巻雅俊¹, 小田明¹, 勝山新一郎¹, 関口博史², 宮島衛², 田中敏春², 熊谷謙², 広瀬保夫², 飯沼泰史², 山崎芳彦².

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急・循環器脳卒中センター².

- 4) 第 2 回糖尿病療養指導研究会. 2008/9/28.
明日から使える患者さんへのアプローチ-それぞれの立場から見たインスリン導入-.
山田徹.
新潟市民病院薬剤部.
- 5) 第 14 回佐渡糖尿病を考える会. 2008/11/8.
糖尿病チーム医療における薬剤師の役割-新潟市民病院での 10 年間の病棟業務を振り返って-.
山田徹.
新潟市民病院薬剤部.
- 6) 第 23 回日本中毒学会東日本地方会. 2009/1/10, つくば.
パネルディスカッション-消費者の中毒事故の防止と対応のために-よりよい連携を求めて-中毒分析者の立場から 家庭用品中毒の落とし穴~農薬服用によるメタノール中毒~.
堀 寧.
新潟市民病院薬剤部.
- 7) 第 23 回日本中毒学会東日本地方会. 2009/1/10, つくば.
極めて高い血中濃度を示したにも関わらず、後遺症なく救命されたメタノール中毒の 1 例.
佐久間一基¹, 関口博史¹, 広瀬保夫¹, 山崎芳彦¹, 高山真理子², 伊藤美香², 藤沢真奈美², 堀 寧².
新潟市民病院救命救急・循環器脳卒中センター¹, 新潟市民病院薬剤部².
- 8) 第 23 回日本中毒学会東日本地方会.
平成 21 年 1 月 10 日、つくば.
ドクターカーで対応した硫化水素ガス中毒の 2 例. 井ノ上幸典, 上野雅仁, 吉田暁, 田中敏春, 広瀬保夫¹, 梅香満¹, 佐久間一基¹, 佐藤信宏¹, 永井秀哉¹, 林由香¹, 関口博史¹, 宮島衛¹, 熊谷謙¹, 飯沼泰史¹, 山崎芳彦¹, 堀 寧², 藤沢真奈美².
新潟市民病院救命救急・循環器脳卒中センター¹, 新潟市民病院薬剤部².
- 9) 第 9 回北関東・北信越 HIV 感染症症例検討会. 2009/1/24.
服薬をささえるもの.
山田徹.
新潟市民病院薬剤部.
- 10) 2009 リバーカンファレンス総会. 2009/3/14, 新潟ユニゾンプラザ.
救命しえた急性メタノール中毒のアルコール性肝硬変の 1 例.
佐久間一基¹, 関口博史¹, 廣瀬保夫¹, 古川浩一², 林雅博², 河久順志², 濱 勇², 横尾健², 相場恒男², 米山靖², 和栗暢生², 杉村一仁², 五十嵐健太郎², 月岡恵², 堀 寧³.
新潟市民病院救命救急・循環器脳卒中センター¹, 新潟市民病院消化器内科², 新潟市民病院薬剤部³.

平成 21(2009)年 研究実績

【論文】

- 1) HPLC による生体試料中のピアラホスおよびその活性代謝物 L-グルホシネートの分析.
中毒研究. **22**, 113-120, 2009.
高山真理子¹, 関口博史², 堀 寧¹, 藤澤真奈美¹, 広瀬保夫².
新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急・循環器脳卒中センター².
- 2) 消費者の中毒事故の防止と対応のために ; よりよい連携を求めて 分析者の立場から-中毒分析によりわかる情報.
中毒研究. **22**, 222-225, 2009.
堀 寧.
新潟市民病院薬剤部.
- 3) 嫌酒者によるメタノール中毒の 1 例.
中毒研究. **22**, 238-239, 2009.
伊関憲¹, 永野達也¹, 杉浦明日美¹, 金井雅代¹, 仁木敬夫¹, 堀 寧², 川前金幸¹.
山形大学医学部救急医学¹, 新潟市民病院薬剤部².
- 4) 急性中毒医療の診断と治療.
薬事. **52**, 239-247, 2010.
堀 寧、藤澤真奈美.
新潟市民病院薬剤部.
- 5) Effect of Dietary Intake on the Levels of Biliary Unsaturated Free Fatty Acids Having Inhibitory Activity on Mutagens.
Asian Pacific J Cancer Prev, **10**, 899-902, 2009.
Ivan Serra¹, Yasuo Tsuchiya², Yasushi Hori³, Kazutoshi Nakamura², Rodrigo Villegas⁴, Mari Oyama², Tomoo Makiguchi⁵, Masaharu Yamamoto².
Ministry of Health, Sotero del Rio Hospital¹,
Department of Community Preventive Medicine, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences²,
Department of Hospital Pharmacy, Niigata City General Hospital³,
Cancer for Research in Environmental Epidemiology⁴,
Department of Structural Pathology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences⁵.
- 6) 楽しくスタート！05 糖尿病専門の薬剤師への道 糖尿病の合併症とは？.
Clinical Pharmacist **5**, 65-69, 2009.
山田徹.
新潟市民病院薬剤部.
- 7) 新潟市における薬薬連携-新潟市民病院と保険薬局の緩和ケアミーティング-.
Clinical Pharmacist **2**, 136-139, 2010.
堀 信弥¹, 田中裕子².
しみん調剤薬局¹, 新潟市民病院薬剤部².

【学会発表】

- 1) 第 52 回日本糖尿病学会年次学術大会. 2009/5/21-23.
新潟市民病院における高カロリー輸液使用時の血糖コントロールについて考える-薬剤師としてできること-第 2 報.
山田徹¹, 宗田聡².
新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院内分泌代謝科².
- 2) 第 26 回日本 TDM 学会・学術大会. 2009/6/13-14, 朱鷺メッセ (新潟).
塩酸バンコマイシンの TDM 解析ソフトとの相関性と解析に影響を与える要因についての調査報告.
伊藤敦子, 片柳えり子, 飯田淳子, 田中裕子, 横野政代, 山田徹, 堀 寧, 小田明, 勝山新一郎.
新潟市民病院薬剤部.
- 3) 第 26 回日本 TDM 学会・学術大会. 2009/6/13-14, 朱鷺メッセ (新潟).
HPLC による生体試料中のピアラホスおよびその活性代謝物 L-グルホシネートの分析.
高山真理子¹, 堀 寧¹, 藤澤真奈美¹, 関口博史², 広瀬保夫².
新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急・循環器脳卒中センター².
- 4) 第 31 回日本中毒学会総会学術集会. 2009/7/24-25, 北里大学白金キャンパス.
アセトアミノフェン中毒のトリアージおよび治療方針の決定にノモグラムは有用か.
広瀬保夫¹, 高山真理子², 藤澤真奈美², 堀 寧².
新潟市民病院救命救急・循環器脳卒中センター¹, 新潟市民病院薬剤部².
- 5) 日本病院薬剤師会関東ブロック第 39 回学術大会. 2009/8/29-30.
在宅医療、緩和医療と薬剤師.
田中裕子.
新潟市民病院薬剤部.
- 6) 第 53 回日本薬学会関東支部大会シンポジウム 4. 2009/10/3, 城西大学薬学部 (埼玉).
臨床における薬物中毒起因物質分析の実際と意義.
堀 寧.
新潟市民病院薬剤部.
- 7) 第 19 回日本医療薬学会年会. 2009/10/24-25.
塩酸バンコマイシン散内服時における整腸剤の使用状況とその効果の比較検討.
飯田淳子¹, 山際睦美², 山田徹¹, 伊藤美香¹, 横野政代¹, 古川彩², 山口広美², 吉田禪², 藤塚美枝子², 矢部正浩³, 小田明¹, 勝山新一郎¹.
新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院栄養管理課², 新潟市民病院総合診療科³.
- 8) 第 56 回副作用研究会. 2009/12/12.
塩酸バンコマイシン散内服時における整腸剤の使用状況とその効果の比較検討.
飯田淳子¹, 山田徹¹, 伊藤美香¹, 横野政代¹, 矢部正浩².
新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院総合診療科².
- 9) 第 24 回日本中毒学会東日本地方会. 2010/1/9, 朱鷺メッセ (新潟市).
重症ツキヨタケ中毒の 1 例.
金丸優¹, 廣瀬保夫¹, 若生康一¹, 吉田暁¹, 小林かおり¹, 井ノ上幸典¹, 関口博史¹, 宮島衛¹, 田中敏春¹, 熊谷謙¹, 飯沼泰史¹, 高山真理子², 伊藤美香², 藤澤真奈美², 堀 寧².

新潟市民病院救命救急・循環器脳卒中センター¹，新潟市民病院薬剤部²。

10) 第 24 回日本中毒学会東日本地方会。2010/1/9，朱鷺メッセ（新潟市）。

サンマの糠漬けを摂取したことにより急性ヒスタミン中毒を起こした一例。

佐藤迪夫¹，宮腰淑子¹，廣瀬保夫¹，上野雅仁¹，吉田暁¹，小林かおり¹，井ノ上幸典¹，関口博史¹，宮島衛¹，田中敏春¹，熊谷謙¹，飯沼泰史¹，高山真理子²，伊藤美香²，藤澤真奈美²，堀 寧²。

新潟市民病院救命救急・循環器脳卒中センター¹，新潟市民病院薬剤部²。

11) 第 10 回がん専門薬剤師研究会。2010/3/6，新潟

緩和ケアへの薬剤師のかかわり-以前から活動している病院として-。

田中裕子。

新潟市民病院薬剤部。

12) 第 147 回新潟薬学会。2010/3/13，新潟

新型インフルエンザ 当院の対応。

伊藤敦子¹，今井由美子²，大崎角栄³，渡辺早苗³，星野忍⁴，手塚貴文⁵，内藤真一⁶，塚田弘樹⁵。

新潟市民病院薬剤部¹，新潟市民病院検査科²，新潟市民病院看護部³，新潟市民病院管理課⁴，新潟市民病院感染症科⁵，新潟市民病院小児外科⁶。

平成 22(2010)年 研究実績

【著書】

- 1) 薬剤師のための救命救急時のスキル&薬ハンドブック-その知識が命を救う-

佐藤博編, 医薬ジャーナル社, 大阪, 2010, pp. 225-229.

堀 寧.

新潟市民病院薬剤部.

- 2) 糖尿病薬物療法の管理.

朝倉俊成編, 南山堂, 東京, 2010, pp. 217-222, pp. 411-418.

山田徹¹, 高山真理子¹, 宗田聡².

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院内分泌代謝科².

【論文】

- 1) 本邦でもノモグラムはアセトアミノフェン中毒の治療方針決定に有用である～新潟市民病院における連続 61 症例の検討～.

中毒研究. **23**, 106-110, 2010.

広瀬保夫¹, 高山真理子², 藤澤真奈美², 堀 寧².

新潟市民病院救命救急・循環器脳卒中センター¹, 新潟市民病院薬剤部².

- 2) メタノール, エタノール, ギ酸の血中濃度を経時的に分析したメタノール中毒の 2 例.

中毒研究 **23**, 232-237, 2010.

佐久間一基¹, 荒川武蔵¹, 広瀬保夫¹, 関口博史¹, 高山真理子², 藤澤真奈美², 堀 寧².

新潟市民病院救命救急・循環器脳卒中センター¹, 新潟市民病院薬剤部².

- 3) 救急医療でいま求められる薬剤師業務とは. 急性中毒医療における薬毒物分析.

Pharma Scope. **8**, 15-16, 2010.

堀 寧.

新潟市民病院薬剤部.

- 4) 経皮的心肺補助により救命した三環系抗うつ薬中毒の 2 症例.

中毒研究 **24**, 46-50.2011.

小林かおり¹, 宮島衛¹, 田中敏春¹, 熊谷謙¹, 広瀬保夫¹, 堀 寧², 木下秀則³.

新潟市民病院救命救急・循環器脳卒中センター¹, 新潟市民病院薬剤部², 新潟大学医歯学総合研究科救命救急医学分野³.

- 5) 著しい腸管浮腫・急性腎不全をきたしたツキヨタケ中毒の 1 例.

中毒研究 **24**, 60-62.2011.

金丸優¹, 広瀬保夫¹, 吉田暁¹, 小林かおり¹, 井ノ上幸典¹, 藤澤真奈美², 堀 寧².

新潟市民病院救命救急・循環器脳卒中センター¹, 新潟市民病院薬剤部².

- 6) サンマの糠漬け摂取による急性ヒスタミン中毒の 1 例.

中毒研究 **24**, 58-59.2011.

佐藤迪夫¹, 広瀬保夫¹, 吉田暁¹, 小林かおり¹, 井ノ上幸典¹, 藤澤真奈美², 堀 寧².

新潟市民病院救命救急・循環器脳卒中センター¹, 新潟市民病院薬剤部².

- 7) 緩和ケアから始まった薬薬連携.

調剤と情報 **16**, 1242-1245, 2010.

竹内 あゆみ¹, 田中 裕子².

市民調剤薬局¹, 新潟市民病院薬剤部²

【学会発表】

1) 第 53 回日本糖尿病学会年次学術集会. 2010/5/28.

新潟市民病院内分泌代謝科外来における糖尿病治療の現状 第 1 報.

山田徹¹, 宗田聡².

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院内分泌代謝科².

2) 第 32 回日本中毒学会総会・学術集会. 2010/7/23-24, 岡山.

急性アセトアミノフェン中毒における N-アセチル L-システイン投与の注意点～服用量情報で投与するとどれだけ正しいか?～.

堀 寧.

新潟市民病院薬剤部.

3) 第 32 回日本中毒学会総会・学術集会. 2010/7/23-24, 岡山.

薬剤性 Q T 延長症候群から Torsades de pointes を引き起こした可能性が疑われた 1 例.

吉田暁¹, 小林かおり¹, 井ノ上幸典¹, 廣瀬保夫¹, 羽尾和久¹, 堀 寧².

新潟市民病院救命救急センター¹, 新潟市民病院薬剤部².

4) 平成 22 年新潟県女性薬剤師会秋期研修会. 2010/10/24.

HIV 治療における薬剤師の役割.

内山真理子.

新潟市民病院薬剤部.

5) 第 7 回医療安全対策、感染管理懇話会. 2010/12/18.

緑膿菌対策 当院の緑膿菌分離の動向から.

伊藤敦子¹, 飯田淳子¹, 今井由美子², 渡部信栄², 大崎角栄³, 渡辺早苗³, 手塚貴文⁴, 塚田弘樹⁴.

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院検査科², 新潟市民病院看護部³, 新潟市民病院感染症科⁴.

6) 第 25 回日本中毒学会東日本地方会. 2011/1/8, 札幌.

汎血球減少を呈し、急速な経過で死亡した有機リン中毒の一部検例.

佐藤由紀¹, 田中敏春¹, 佐藤信宏¹, 吉田暁¹, 小林かおり¹, 井ノ上幸典¹, 若生康一¹, 関口博史¹, 宮島衛¹, 熊谷謙¹, 広瀬保夫¹, 伊藤美香², 田畑まゆ², 藤澤真奈美², 堀 寧².

新潟市民病院救命救急・循環器脳卒中センター¹, 新潟市民病院薬剤部².

7) 第 25 回日本中毒学会東日本地方会. 2011/1/8, 札幌.

新潟市民病院で経験した硫化水素中毒 14 症例の検討.

井ノ上幸典¹, 熊谷謙¹, 田中敏春¹, 吉田暁¹, 西川有紀子¹, 関口博史¹, 佐藤信宏¹, 小林かおり¹, 宮島衛¹, 広瀬保夫¹, 堀 寧².

新潟市民病院救命救急・循環器脳卒中センター¹, 新潟市民病院薬剤部².

8) 第 3 5 回秋葉区薬剤師会勉強会. 2011/1/21, 秋葉区新津健康センター.

臨床における薬物中毒起因物質分析の実際と意義.

堀 寧.

新潟市民病院薬剤部

平成 23 (2011) 年 研究実績

【著書】

- 1) 薬剤師のための救急・集中治療領域標準テキスト.

日本病院薬剤師会・日本臨床救急医学会 監修, へるす出版, 東京, 2011, pp. 276-291.

堀 寧.

新潟市民病院.

【論文】

- 1) 中毒医療に求められる薬剤師業務 患者の症状・情報・分析から中毒原因物質を同定する.

薬事 **53**, 795-803, 2011.

堀 寧.

新潟市民病院薬剤部.

- 2) 県医よろず Q&A. 脳梗塞症の予防のための話題の新規抗凝固薬について教えてください.

新潟県医師会報, **734**, 46-47, 2011.

堀 寧.

新潟市民病院薬剤部.

- 3) クリニカル・トキシコロジスト認定制度をめぐって. 分析者の立場から～現実的な意義を考察する.

中毒研究 **24**, 115-117, 2011.

堀 寧.

新潟市民病院薬剤部.

- 4) 薬物血中濃度測定的重要性.

救急医学 **35**, 1123-1127, 2011.

堀 寧.

新潟市民病院薬剤部.

- 5) 急性中毒医療における薬毒物分析.

Pharma Scope 特別特集号. pp15-16. 田辺三菱株式会社. 2011 年 5 月 10 日.

堀 寧.

新潟市民病院薬剤部.

- 7) 東北地方太平洋沖地震における震災活動報告～新潟市民病院 DMAT～.

Information Letter For Continuous Professional Development. No.3. 新潟薬科大学. 2011 年 12 月 1 日.

堀 寧.

新潟市民病院薬剤部.

【学会発表】

- 1) 第 54 回日本糖尿病学会年次学術集会. 2011/5/19.
シタグリブチン粉砕調剤時における血糖降下作用の検討.
山田徹¹, 佐藤さつき², 山田貴穂², 宗田聡².
新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院内分泌代謝科².
- 2) 医療薬学フォーラム 2011.第 19 回クリニカルファーマシーシンポジウム. 2011/7/9-10, 旭川.
シンポジウム 6. 急性薬毒物中毒における薬剤師の役割.
堀 寧.
新潟市民病院薬剤部.
- 3) 第 149 回新潟薬学会. 2011/7/10, 新潟薬科大学.
アセトアミノフェン検知管の血清中アセトアミノフェン定量分析への応用.
田畑まゆ¹, 旭 聡子¹, 堀 寧¹, 小田明¹, 広瀬保夫², 乗峯 絵理³, 石澤不二雄³, 村松輝夫⁴.
新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急・循環器脳卒中センター², 茨城県警科学捜査研究所³, 光明理化学工業株式会社⁴.
- 4) 第 33 回日本中毒学会総会・学術集会. 2011/7/30-31, 大垣市.
アセトアミノフェン検知管の血清中アセトアミノフェン定量分析への応用.
田畑まゆ¹, 藤澤真奈美¹, 堀 寧¹, 小田明¹, 広瀬保夫², 乗峯絵理^{3, 4}, 石澤不二雄³, 川端三十一³, 本田克也⁴, 村松輝夫⁵, 伊関憲⁶, 豊口禎子⁷.
新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急・循環器脳卒中センター², 茨城県警察本部科学捜査研究所³, 筑波大学人間総合科学研究科生命システム医学専攻法医学⁴, 光明理化学工業株式会社⁵, 山形大学医学部器官機能統御学講座急性生体機能統御学分野⁶, 山形大学医学部附属病院薬剤部⁷.
- 5) 第 20 回母乳育児シンポジウム. 2011/8/6, 京都
授乳中の母親の薬剤使用に対する疑問や不安, 対処法についての調査.
今井理央子¹, 藤澤真奈美¹, 徳武葉子², 飯島静子².
新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院看護部².
- 6) 第 5 回日本緩和医療薬学会. 2011/9/24-25. 幕張メッセ
シンポジウム 17-3. 緩和ケアチームでの薬剤師の役割と課題.
田中裕子.
新潟市民病院薬剤部.
- 7) 第 26 回日本中毒学会東日本地方会. 2012/1/21, 盛岡市.
血中アセトアミノフェン検出キット ZAPtoxTM ACETAMINOPHEN TEST の初期使用経験について.
田畑まゆ¹, 川上陽介¹, 藤澤真奈美¹, 堀 寧¹, 小田明¹, 広瀬保夫².
新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院救命救急・循環器脳卒中センター².
- 8) 第 26 回日本中毒学会東日本地方会. 2012/1/21, 盛岡市.
オオワライタケ中毒の 1 例.
中野英之¹, 小林かおり¹, 窪田健児¹, 佐藤由紀¹, 井上重宏¹, 佐藤信宏¹, 井ノ上幸典¹, 若生康一¹, 関口博史¹, 宮島衛¹, 田中敏春¹, 熊谷謙¹, 広瀬保夫¹, 堀 寧².
新潟市民病院救命救急・循環器脳卒中センター¹, 新潟市民病院薬剤部²

9) 第 26 回日本中毒学会東日本地方会. 2012/1/21, 盛岡市.

豪雨災害後に発生した小児マムシ咬傷の一例.

佐藤由紀¹, 佐藤信宏¹, 中野英之¹, 窪田健児¹, 井上重宏¹, 小林かおり¹, 井ノ上幸典¹, 若生康一¹, 関口博史¹, 宮島衛¹, 田中敏春¹, 熊谷謙¹, 広瀬保夫¹, 堀 寧².

新潟市民病院救命救急・循環器脳卒中センター¹, 新潟市民病院薬剤部².

10) 第 40 回新潟糖尿病談話会. 2012/2/4.

糖尿病友の会のウォークラリーに参加して.

山田徹¹, 成田操², 山際睦美², 山口広美³, 吉田禪³, 藤塚美枝子³, 土田浩司⁴, 石澤正博⁴, 山田貴穂⁴, 宗田聡⁴.

新潟市民病院薬剤部¹, 新潟市民病院看護部², 新潟市民病院栄養管理課³, 新潟市民病院内分泌代謝科².

平成 24 (2012) 年 研究実績

【著書】

- 1) 今日の治療指針 2012 年版.
医学書院, 東京, 2012, p p. 128.
堀 寧.
新潟市民病院.

【論文】

- 1) 新潟県薬剤師糖尿病ネットワークの取り組み.
糖尿病 55, 151, 2012.
山田徹¹, 長井一彦², 原栄子³, 丸山歩⁴, 佐藤宏⁵, 斎藤達志⁶, 原則夫⁷, 仲村スイ子⁸.
新潟市民病院薬剤部¹, 下越病院薬剤課², 新潟中央病院薬剤部³, 厚生連魚沼病院薬剤部⁴, 厚生連新潟医療セ薬剤部⁵,
県立中央病院薬剤部⁶, 済生会新潟第二病院薬剤部⁷, 新潟信愛病院薬局⁸.
- 2) 救急の現場で役立つ中毒への対処法. 3. 起因物質の分析.
レジデント 5, 26-38, 2012.
堀 寧.
新潟市民病院薬剤部.
- 3) これからの病棟業務はいかにあるべきか～「病棟薬剤業務実施加算創設がもたらすインパクト」～.
Pharma Scope 特別号新潟県版. 田辺三菱株式会社. 2012 年 9 月.
佐藤博¹, 丸山陵子², 徳間一夫³, 小田明⁴
新潟大学医歯学総合病院薬剤部長¹, 長岡赤十字病院薬剤部長², 厚生連長岡中央総合病院薬剤部長³, 新潟市民病院薬
剤部長⁴.
- 4) 知っ得テスト「医療用医薬品」糖尿病.
Clinical Pharmacist 4, No3, 86, 2012.
山田徹.
新潟市民病院薬剤部.
- 5) 知っ得テスト「医療用医薬品」前立腺肥大症.
Clinical Pharmacist 4, No4, 88, 2012.
山田徹.
新潟市民病院薬剤部.
- 6) 知っ得テスト「医療用医薬品」糖尿病 回答・解説.
Clinical Pharmacist 4, No4, 74, 2012.
山田徹.
新潟市民病院薬剤部.
- 7) 知っ得テスト「医療用医薬品」前立腺肥大症 回答・解説.
Clinical Pharmacist 4, No5, 74, 2012.
山田徹.
新潟市民病院薬剤部.
- 8) 知っ得テスト「医療用医薬品」骨粗鬆症.

Clinical Pharmacist **5**, 88, 2012.

山田徹.

新潟市民病院薬剤部.

【学会発表】

- 1) 第 29 回日本 TDM 学会・学術大会. 2012/6/16-17, 神戸.

教育講演 4. 薬物中毒と血中濃度モニタリング.

堀 寧.

新潟市民病院薬剤部.

- 2) 第 54 回日本糖尿病学会年次学術集会. 2011/5/17-19. パシフィコ横浜.

新潟県薬剤師糖尿病ネットワークの取り組み.

山田徹¹, 長井一彦², 原栄子³, 丸山歩⁴, 佐藤宏⁵, 斎藤達志⁶, 原則夫⁷, 仲村スイ子⁸.

新潟市民病院薬剤部¹, 下越病院薬剤課², 新潟中央病院薬剤部³, 厚生連魚沼病院薬剤部⁴, 厚生連新潟医療セ薬剤部⁵, 県立中央病院薬剤部⁶, 済生会新潟第二病院薬剤部⁷, 新潟信愛病院薬局⁸.

- 3) 新潟県病院薬剤師会学術講演会. 2012/7/20, ユニゾンプラザ (新潟市).

緩和ケアチームで関わった難治症例.

田中裕子.

新潟市民病院薬剤部.

- 4) 日本臨床救急医学会救急認定薬剤師特別講義. 2012/8/4, 昭和大学病院講堂 (東京).

中毒原因物質のスクリーニングと薬学的評価.

堀 寧.

新潟市民病院薬剤部.

- 5) 第 22 回日本医療薬学会年会. 2012/10/27-28. 朱鷺メッセ.

新潟県薬剤師糖尿病ネットワーク活動記録④.

山田徹¹, 斎藤達志², 長井一彦³, 原栄子⁴, 丸山歩⁵.

新潟市民病院¹, 新潟県立中央病院², 下越病院³, 新潟中央病院⁴, 柏崎総合医療センター⁵.

平成 25 (2013) 年 研究実績

【著書】

プロフェッショナルから学ぶ医薬品副作用の対応 50.

佐藤博 監修, 継田雅美 編. 南山堂, 東京, 2013, pp93, 97-100.

笠巻雅俊.

【論文】

- 1) 「分析委員会だより」の再開にあたって-日本中毒学会分析委員会のこれまでとこれから-.
中毒研究 26 : 119-120, 2013.
堀 寧.
- 2) 中毒起因物質の実用的分析法 (2). トリカブト毒 ; アコニチン系アルカロイドの検出.
中毒研究 26 : 121-126, 2013.
藤田友嗣, 富永綾, 野澤まゆ, 畝井浩子, 波多野弥生, 齊藤剛, 伊関憲, 堀 寧.
- 3) 1998 年度に厚生省 (現厚生労働省) から薬毒物分析機器が配備された救急医療施設における分析業務の実態調査.
-2008 年の調査結果を基にした継続的な調査-.
中毒研究 26 : 226-233, 2013.
齊藤剛, 富永綾, 野澤まゆ, 畝井浩子, 波多野弥生, 藤田友嗣, 伊関憲, 堀 寧.
- 4) 中毒起因物質の実用的分析法 (3). カチノン系化合物の分析.
中毒研究 26 : 246-250, 2013.
齊藤剛, 富永綾, 野澤まゆ, 畝井浩子, 波多野弥生, 藤田友嗣, 伊関憲, 堀 寧.
- 5) 中毒起因物質の実用的分析法 (4). 銀杏中毒における 4-O-methylpyridoxine (MPN) の分析法.
中毒研究 26 : 326-329, 2013.
堀寧, 富永綾, 野澤まゆ, 藤田友嗣, 畝井浩子, 波多野弥生, 齊藤剛, 伊関憲.
- 6) 中毒起因物質の実用的分析法 (5). 新しいアセトアミノフェンの簡易分析法の紹介 - ZAP_{TOX}TM ACETAMINOPHEN TEST-.
中毒研究 27 : 54-57, 2014.
野澤まゆ, 富永綾, 藤田友嗣, 畝井浩子, 波多野弥生, 齊藤剛, 伊関憲, 堀寧.

【学会発表】

- 1) 第 30 回日本 TDM 学会・学術大会. 2013 年 5 月 25 日 (土) ~26 日 (日), 熊本. シンポジウム 4.
臨床薬毒物中毒分析とその評価.
堀 寧.
- 2) 第 43 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会. 2013 年 8 月 31 (土) ~9 月 1 日 (日), 新潟.
新潟県における病院長期実務実習に関するアンケート調査.
山本剛, 内山一史, 宮下理恵子, 池田裕美, 大倉麻子, 大筋彰, 中村順一, 堀 寧.
- 3) 第 43 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会. 2013 年 8 月 31 (土) ~9 月 1 日 (日), 新潟.
ダビガトラン内服中の患者に対して手術・検査を行う際の当院における対策とその結果.
中下愛美, 堀 寧, 小田 明, 五十嵐修一, 小田弘隆, 塚田弘樹, 高井和江.
- 4) 第 43 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会. 2013 年 8 月 31 (土) ~9 月 1 日 (日), 新潟.
母親学級における薬剤師の関わり.

内山真理子, 佐藤幸恵, 川上みゆき.

- 5) 第 43 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会. 2013 年 8 月 31 (土) ~9 月 1 日 (日), 新潟.
当院における Denosumab 使用と低カルシウム血症発現状況に関する調査.
旭 聡子.
- 6) 第 13 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議 2013 in 舞浜. 2013 年 9 月 15 (日) ~16 日 (月), 東京.
自治体病院における新規 SMO 導入を経験して見えてきた CRC 支援.
今井理央子, 池田忠雄, 渡部邦恵, 飯田ちあき, 相場仁美, 山田徹, 伊藤和彦, 佐藤晶.
- 7) 第 23 回日本医療薬学会年会. 2013 年 9 月 21 日 (土) ~22 日 (日), 仙台.
中毒患者における薬学的管理の実践-新潟市民病院の中毒分析業務-.
野澤まゆ, 塩田浩平, 島田裕子, 藤澤真奈美, 堀 寧, 小田明.
- 8) 第 18 回がん専門薬剤師研修会. 2013 年 11 月 16 (土), 新潟.
当院における Denosumab 使用と低カルシウム血症発現状況に関する調査.
旭 聡子.
- 9) 第 28 回日本中毒学会東日本地方会. 2014 年 1 月 11 日 (土), 東京.
代謝性アシドーシスが再燃した急性サリチル酸中毒の 1 例.
酒井規裕子, 佐藤信宏, 広瀬保夫, 近藤大介, 島田裕子, 野澤まゆ, 塩田浩平, 堀 寧.
- 10) 第 109 回近畿救急医学研究会・日本救急医学会近畿地方会. 2014 年 3 月 1 日 (土), 京都.
ハンズオンセミナー「救急で覚えておくべき中毒簡易分析」.
伊関憲, 堀 寧, 藤田友嗣.
- 11) 第 154 回新潟薬学会. 2014 年 3 月 9 日, 新潟市.
新潟市民病院薬業連携活動報告.
宮川達徳, 竹内あゆみ, 堀信弥, 村野聡, 関口知行, 勝山新一郎, 田中裕子, 堀 寧, 野澤まゆ, 山田徹, 小田明.
- 12) 第 154 回新潟薬学会. 2014 年 3 月 9 日, 新潟市.
急性アスピリン中毒に併発した腎尿細管障害性アシドーシスの 1 例.
島田裕子, 野澤まゆ, 塩田浩平, 川上陽介, 堀 寧, 酒井規裕, 佐藤信宏, 広瀬保夫, 近藤大介.
- 13) 第 154 回新潟薬学会. 2014 年 3 月 9 日, 新潟市.
LC/MS(ESI 法)を用いた血清中ギ酸, グリコール酸, 乳酸の一斉スクリーニング・定量分析法~急性エチレングリコールおよびメタノール中毒の鑑別診断~.
塩田浩平, 島田裕子, 野澤まゆ, 堀 寧, 広瀬保夫.

平成 26 (2014) 年 研究実績

【著書】

なし

【論文】

- 1) 機器分析による分析値、定量値の求め方-分析バリデーションの必要性-。
齊藤剛, 富永綾, 野澤まゆ, 畝井浩子, 波多野弥生, 藤田友嗣, 伊関憲, 堀寧。
中毒研究 27, 223-226, 2014.
- 2) HIV 感染症診療における薬剤師介入が医療者側へもたらす効果に関する実態調査-エイズ治療ブロック拠点病院および ACC における検討-。
國本雄介, 吉野宗宏, 大石裕樹, 原田幸子, 井上正朝, 佐藤麻希, 内山真理子, 齊藤直美, 丸山一郎, 下川千賀子, 畝井浩子, 松本俊治, 増田純一, 千田昌之, 和泉啓司郎, 宮本篤。
医療薬学 40, 471-479, 2014.
- 3) 糖尿病経口薬についてのクエスチョン①。
山田徹, 中野美穂。
糖尿病ケア 11, 629-635, 2014.
- 4) 目で見えてわかる経口血糖降下薬とインクレチン関連薬。⑦チアゾリジン薬。
山田徹, 中野美穂。
糖尿病ケア 秋季増刊, 46-50, 2014.
- 5) 目で見えてわかる経口血糖降下薬とインクレチン関連薬。⑮SGL T2 阻害薬。
山田徹, 中野美穂。
糖尿病ケア 秋季増刊, 86-92, 2014.

【学会発表】

- 1) 第 23 回応用薬学研究会。平成 26 年 7 月 12 日 (土)。新潟ユニゾンプラザ。
「救命救急・循環器病・脳卒中センターの薬剤管理」。
川上陽介。
- 2) 第 88 回日本感染症学会学術講演会。2014 年 6 月 18 日-6 月 20 日。ヒルトン福岡シーホーク (福岡市)。
「当院の四肢切断術における感染状況の把握と SSI 発生防止の取り組み (第 2 報)」。
伊藤敦子, 手塚貴文, 大石昌典, 小泉健, 坂井孝行, 中下愛実, 塚田弘樹。
- 3) 第 16 回新潟県 IC フォーラム学術集会。2014 年 7 月 5 日。新潟市。
「四肢切断術後の SSI 防止における ICT 活動の報告」。
伊藤敦子, 塚田弘樹, 大石昌典, 手塚貴文, 山下晴義, 小田雅人, 中下愛実, 坂井孝行, 麻生さくら, 細貝みゆき, 新野裕美子, 大崎角栄。
- 4) 第 36 回日本中毒学会総会・学術集会。2014 年 7 月 25 日~7 月 26 日。帝京大学板橋キャンパス。
特別プログラム急性中毒の診療報酬改訂とそれに向けた対応。~日本中毒学会分析委員会活動のこれまで~。
堀 寧。
- 5) 第 15 回コロキウム虚血性心疾患 in 新潟。2014 年 9 月 6 日。新潟市。循環器知識の泉シンポジウム。
心血管イベントの二次予防 (シナジスト)。

中下愛実.

- 6) 新潟県女性薬剤師会新潟支部研修会. 2014年9月7日. 新潟市.
SGLT2 阻害剤-2 型糖尿病治療剤-の服薬指導のポイント.
山田徹.
- 7) 第16回フォーラム「医療の改善活動」全国大会 in 福井. 2014年11月14日-11月15日.
福井フェニックスプラザ (福井県福井市). 返却薬放置ダメ! 絶対.
坂井孝行、旭聡子、島田祐子、笠巻雅俊.
- 9) 平成26年度新潟薬科大学キャリアガイダンス. 2014年10月23日. 新潟薬科大学.
「救急医療・中毒医療について」.
堀 寧.
- 10) 平成26年度新潟薬科大学キャリアガイダンス. 2014年10月23日. 新潟薬科大学.
「感染制御薬剤師について」.
伊藤敦子.
- 11) 在宅呼吸ケア教室. 2014年10月18日. 新潟市民病院南棟会議室.
「お薬について知ろう」.
塩田浩平.
- 12) 第28回日本エイズ学会学術集会・総会. 2014年12月3日-5日. 大阪国際会議場.
HIV 感染症患者に合併した潰瘍性大腸炎.
内山真理子, 山田徹, 手塚貴文, 塚田弘樹.
- 13) 第14回CRCと臨床研究のあり方を考える会議2014 in 浜松. 2014年10月4日-5日. アクティシティ浜松 (静岡県浜松市).
電子的記録授受の落とし穴.
飯田ちあき、今井理央子、小澤文恵、伊藤美香、渡部邦恵、佐藤昌.
- 14) 第49回病院薬学研修会 (新潟県病院薬剤師会主催). 2014年11月16日. 新潟ユニゾンプラザ.
当院手術室における薬剤師の関わり.
笠巻雅俊.
- 15) 第19回新潟市民病院薬薬連携研修会. 2014年12月3日. 新潟市民病院講堂.
「リバーロキサバン内服中の患者に対して手術を行う際の当院における対策とその結果」.
中下愛実.
- 16) 第5回市民病院いきいき講座. 知って得する薬の知識. 2015年2月13日. 新潟市民病院講堂.
①おくすり知恵袋 平良木由布、村山佳那子、太田悠貴 ②ジェネリック医薬品って何 山田徹.
- 17) がんチーム医療研修フォローアップミーティング. みやこ めっせ (京都市勧業館).
「がん患者指導管理の普及、充実を目指して」. 2015年3月7日.
田中裕子、大谷哲也、松田祐子.

平成 27 (2015) 年 研究実績

【著書】

堀寧.

今日の診断指針第 7 版. 中毒起因物質の分析. pp1439-1442. 2015. 医学書院.

【論文】

- 1) 薬学部におけるインスリン自己注射体験型実習の教育効果.
宮下しずか, 朝倉俊成, 阿部 学, 山田 徹, 長井一彦, 原 栄子, 丸山 歩.
くすりと糖尿病 4 (1). 77-83, 2015.
- 2) 糖尿病治療と低血糖-より安全な組み合わせの視点から-.
山田徹.
DMEnsemble Vol4 No2 2015, 7-11.
- 3) これは何の中毒? 中毒起因物質の同定と評価④中毒起因物質を同定できなかったときの考え方と対処法.
堀 寧.
薬局 66, 2854-2860, 2015.
- 4) 検知管による薬毒物のスクリーニング.
石澤不二雄, 藤田友嗣, 伊関 憲, 堀 寧, 齊藤 剛, 臼井聖尊, 波多野弥生, 野澤まゆ, 富永 綾.
中毒研究 28, 266-272, 2015.
- 5) 含フッ素テトラフェニルポルフィリン配位子をプローブとした新しい血清リチウムの迅速測定試薬.
岩渕拓也, 北條渉, 秋富慎司, 井上哲, 石澤不二雄, 伊関憲, 臼井聖尊, 齊藤剛, 富永綾, 野澤まゆ, 波多野弥生, 堀寧, 藤田友嗣.
中毒研究 28, 392-396, 2015.
- 6) 生体試料からの薬毒物の前処理法について 液液抽出 (ケイソウ土カラム) 法・QuEChERS 法・モノリススピンカラム法.
藤田友嗣, 臼井聖尊, 齊藤剛, 石澤不二雄, 伊関憲, 富永綾, 野澤まゆ, 波多野弥生, 堀 寧.
中毒研究 29, 50-55, 2016.

【学会発表】

- 1) 第 58 回日本糖尿病学会年次学術集会. 下関市. 5 月 21 日-5 月 24 日.
薬学部におけるインスリン自己注射体験型実習の教育効果に関する報告. 宮下しずか,
山田徹, 長井一彦, 原 栄子, 丸山歩, 阿部学, 朝倉俊成.
- 2) 第 63 回日本化学療法学会総会. 東京都. 6 月 4 日-6 日.
テイコプラニン投与中に血小板減少を生じた 3 症例.
中下愛実, 伊藤敦子, 坂井孝行, 金光美穂, 大石昌典, 手塚貴文, 塚田弘樹.
- 3) 第 20 回日本緩和医療学会学術大会. 横浜市. 6 月 18 日-19 日.
「当院でのタベンタドール塩酸塩投与症例に関する調査。」
田中裕子, 藤田詩織, 野本優二, 黒田満美子, 二宮一美, 片柳憲雄.
- 4) 第 54 回新潟化学療法研究会. 新潟市. 7 月 20 日.
テイコプラニン投与中に血小板減少を生じた 3 症例.

伊藤敦子, 中下愛実, 坂井孝行, 金光美穂, 大石昌典, 手塚貴文, 塚田弘樹.

- 5) 第1回日本医薬品安全性学会学術大会. 福山市. 7月5日.
インスリンアナログ製剤投与後に皮疹を発現した事例についての考察.
長井一彦, 青柳弥生, 山田徹, 富山勝博.
- 6) 平成27年度新潟薬科大学キャリアガイダンス. 新潟市. 7月9日.
妊婦・授乳婦、HIV感染症対応薬剤師業務について.
内山真理子.
- 7) 外来化学療法における抗がん剤治療を考える会. 新潟市. 9月12日.
当院でのがん治療における外来患者指導.
田中裕子.
- 8) 第4回日本くすりと糖尿病学会学術集会. 新潟市. 9月26-27日.
検査前朝食指示にともなう糖尿病薬投与の取り決めの作成.
山田徹, 金光美穂, 波多野亘, 片桐彩子, 成田操, 松本博美, 宗田聡, 金沢宏.
- 9) 第4回日本くすりと糖尿病学会学術集会. 新潟市. 9月26-27日.
薬学部における糖尿病領域体験型実習の教育効果に関する報告.
宮下しずか, 阿部学, 山田徹, 長井一彦, 稲月幸範, 原栄子, 丸山歩, 朝倉俊成.
- 10) 第4回日本くすりと糖尿病学会学術集会. 新潟市. 9月26-27日.
医療従事者を対象としたインスリン製剤の識別に関する意識調査.
清水茉耶, 朝倉俊成, 山田徹, 長井一彦, 原栄子, 虎石顕一, 武藤達也, 中野玲子.
- 11) 第4回日本くすりと糖尿病学会学術集会. 新潟市. 9月26-27日.
1型糖尿病発症にあわせ皮疹を発現した事例についての検討.
長井一彦, 青柳弥生, 山田徹, 富山勝博.
- 12) 平成27年度新潟薬科大学キャリアガイダンス. 新潟市. 10月13日.
HIV感染症対応薬剤師業務について.
内山真理子.
- 13) 平成27年度新潟薬科大学キャリアガイダンス. 新潟市. 10月13日.
救急医療・中毒医療の薬剤師業務について.
堀 寧.
- 14) 第53回日本癌治療学会学術集会. 京都市. 10月29日-31日.
がん患者指導管理の普及・充実を目指して.
田中裕子.
- 15) 新潟県がん診療連携協議会. 平成27年度第1回研修教育部会. 新潟市. 11月14日.
がん診療におけるチーム医療の推進に向けて.
田中裕子.
- 16) 第30回日本中毒学会・東日本地方会. 東京都. 1月23日.
有機リン中毒により遅発性意識障害を呈した1例.
弥久保俊太, 遠藤真佑, 田嶋淳哉, 吉田暁, 広瀬保夫, 堀 寧.
- 17) 新潟県病院薬剤師会学術講演会. 新潟市. 3月4日.

当院手術室における薬剤師の役割.

寺島達也.

18) 新潟市薬剤師会学術講演会. 新潟市. 3月16日.

当院でのがん薬物療法の副作用マネージメント.

田中裕子.

平成 28 (2016) 年 研究実績

【著書】

なし

【論文】

- 1) 糖尿病薬そのまま使える説明シート。
金光美穂、山田徹。
糖尿病ケア 13/5 : 24-29, 2016.
- 2) Late Metabolic Acidosis Caused by Renal Tubular Acidosis in Acute Salicylate Poisoning.
Norihiro Sakai 1, Yasuo Hirose1, Nobuhiro Sato 1, Daisuke Kondo 2, Yuko Shimada 3 and Yasushi Hori.
Intern Med 55: 1315-1317, 2016.
- 3) 医療従事者を対象としたプレフィルド型インスリン注射器の識別性に関する意識調査。
清水茉耶, 朝倉俊成, 山田徹, 長井一彦, 原 栄子, 虎石頭一, 武藤達也, 中野玲子。
糖尿病ケア 13/8 : 756—767, 2016.
- 4) LC-MS/MSおよびGC-MSを用いた生体試料中の薬毒物のスクリーニング。
藤田友嗣, 斉藤剛, 臼井聖尊, 石澤不二雄, 伊関憲, 富永綾, 野沢まゆ, 波多野弥生, 堀 寧。
中毒研究 29 : 268-272, 2016.
- 5) 糖尿病の薬物療法。
山田徹、金光美穂。
糖尿病ケア春季増刊 : 192-200, 2017.

【学会発表】

- 1) 第 15 回新潟県緩和医療ネットワーク研究会。平成 28 年 4 月 23 日 (土)。新潟市。
パネルディスカッション～地域の患者さんを支えるためには「今、薬剤師ができることは？」～。
田中裕子。
- 2) 第 19 回日本臨床救急医学会総会・学術集会。平成 28 年 5 月 12 日 (木) ～5 月 14 日 (土)。郡山市。
当院の急性アセトアミノフェン中毒～治療ノモグラムに基づいた N-アセチルシステイン治療の評価～。
島田祐子、野沢まゆ、川上陽介、波多野亘、堀 寧、吉田暁、広瀬保夫。
- 3) 第 33 回日本 TDM 学会・学術大会。平成 28 年 5 月 28 日 (土) ～5 月 29 日 (日)。宇都宮市。
シンポジウム「日本における Clinical Toxicology を考える。」～日本中毒学会における急性中毒標準治療と薬毒物分析の現状について～。
堀 寧。
- 4) 第 38 回日本中毒学会総会・学術集会。平成 28 年 7 月 23 日 (土) ～24 日 (日)。新潟市。
大会長講演～私を中毒学会に引き込んだグルホシネート中毒について～。
堀 寧。
- 5) 第 26 回日本医療薬学会年会。国立京都国際会館 (京都市)。平成 28 年 9 月 17 日～19 日。
当院における急性アセトアミノフェン中毒患者の背景調査。
波多野亘、平良木由布、島田祐子、野沢まゆ、川上陽介、堀 寧、広瀬保夫、吉田暁。
- 6) 第 54 回日本癌治療学会学術集会。開催地 : パシフィコ横浜 (横浜市)。平成 28 年 10 月 20 日～22 日。
がん患者に対する苦痛のスクリーニングの有用性。
田中裕子、黒田満美子、二宮一美、三富弘子、松田裕子、野本優二、伊藤和彦、大谷哲也。

- 7) 第 65 回日本感染症学会東日本地方会学術集会・第 63 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会。朱鷺メッセ新潟
コンベンションセンター（新潟市）。平成 28 年 10 月 27 日（木）。
当院救命救急・循環器脳卒中センターにおけるバンコマイシン初期投与法に関する調査。
中下愛実、伊藤敦子、坂井孝行、金光美穂、大石昌典、手塚貴文、塚田弘樹。
- 9) 第 65 回日本感染症学会東日本地方会学術集会・第 63 回日本化学療法学会東日本支部総会 合同学会。朱鷺メッセ新
潟コンベンションセンター（新潟市）。平成 28 年 10 月 28 日（金）。
当院の胆道感染症における抗菌薬投与期間と再発に関する検討。
伊藤敦子、手塚貴文、中下愛実、坂井孝行、金光美穂、大石昌典、塚田弘樹。
- 10) 第 5 回日本くすりと糖尿病学会学術集会。平成 28 年 10 月 30 日（日）。神戸国際会議場（神戸市）。
新潟県薬剤師ネットワーク活動記録～整形外科医の視点から学ぶ！糖尿病の足病変～。
丸山歩、長井一彦、原栄子、山田徹。
- 11) 第 31 回日本中毒学会東日本地方会。平成 29 年 1 月 21 日（土）。アイーナいわて県民情報交流センター（岩手県盛
岡市）。
当院における急性アセトアミノフェン中毒患者の背景調査。
平良木由布、波多野亘、島田祐子、川上陽介、堀 寧、広瀬保夫、吉田暁。
- 12) 第 32 回日本静脈経腸栄養学会学術集会。平成 29 年 2 月 24 日（金）。ラヴィール岡山（岡山県岡山市北区）。
含糖酸化鉄注射液が原因と考えられた低リン血症の 1 例。
島田祐子。
- 13) 第 11 回新潟 NST フォーラム。平成 29 年 3 月 4 日（土）。新潟ユニゾンプラザ。
含糖酸化鉄注射液が原因と考えられた低リン血症。
川上陽介。
- 14) 日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2017。平成 29 年 3 月 18 日（土）～19 日（日）。朱鷺メッセ新潟コンベンションセン
ター（新潟市）。Gas Chromatograph/ Mass Spectrometer (GC/MS) を用いた使用済みデュロテップ®MT パッ
チ中のフェンタニル残存量分析。藤田詩織、村山佳那子、田中裕子、平良木由布、村越真人、堀 寧、黒田満美子、
二宮一美、野本優二、大谷哲也、片柳憲雄。

平成 29 (2017) 年 研究実績

【著書】

- 1) 堀 寧. 薬剤師のための救急・集中治療領域標準テキスト. 日本病院薬剤師会/日本臨床救急医学会 監修. へるす出版 (東京).
- 2) 堀 寧. わかりやすい疾患と処方薬の解説 2018. アークメディア (東京).

【論文】

- 1) Gas Chromatograph/ Mass Spectrometer (GC/MS) を用いた使用済みデュロテップ®MT パッチ中フェンタニル定量分析法.
藤田詩織, 堀 寧, 田中裕子, 村山佳那子, 村越真人, 山田徹, 野本優二, 大谷哲也, 片柳憲雄.
日本緩和医療薬学雑誌. 10 : 47-52 (2017).
- 2) 薬剤師がひもとく薬の基礎知識① 4. チアゾリジン薬.
金光美穂.
糖尿病ケア 2017vol.14. no.5, pp20-21.
- 3) 薬剤師がひもとく薬の基礎知識① 5. α -グルコシダーゼ阻害薬.
山田徹.
糖尿病ケア 2017vol.14. no.5, pp20-21.
- 4) エチレングリコールの分析.
三瀬雅史, 堀 寧, 広瀬保夫, 安藤基純, 臼井聖尊, 斉藤剛, 藤田友嗣, 山口浩明, 芳澤朋大.
中毒研究. 30 : 276-280. 2017.
- 5) メタノール誤飲に対してエタノールを投与した一幼児例.
富家俊弥, 堀 寧, 阿部祥英, 菅野光一, 小川泰葉, 若林仁美, 寺崎道重, 大戸秀恭, 校條愛子, 佐々木忠徳, 板橋家頭夫.
日本小児救急医学会誌. 16 : 54-58 (2017).
- 6) 話題の新薬と現在開発中の治験薬について.
山田徹.
糖尿病診療 up date. vol.6. no.2, pp48-52.
- 7 カフェインの分析.
安藤基純, 有吉孝一, 臼井聖尊, 斉藤剛, 藤田友嗣, 堀 寧, 三瀬雅史, 山口浩明, 芳澤朋大.
中毒研究. 31 : ★-★. 2017.

【学会発表】

- 1) 新潟県病院薬剤師会学術集会. 平成 29 年 9 月 8 日. ユニゾンプラザ (新潟市).
日本病院薬剤師会災害派遣登録薬剤師について.
堀 寧.
- 2) 第 27 回日本医療薬学会年会. 平成 29 年 11 月 3 日 (金) ~5 日 (日). 幕張メッセ (千葉市). 手術・検査前休薬の遵守状況と休薬間違いの要因に関する検討~患者総合支援センターにおける薬剤師業務の評価と課題~.
中下愛実, 野澤まゆ, 小林奈央, 堀寧, 山田徹, 五十嵐洋子, 内藤厚子, 倉林工.
- 3) 第 27 回日本医療薬学会年会. 平成 29 年 11 月 3 日 (金) ~5 日 (日). 幕張メッセ (千葉市).
入院支援における薬剤師の取り組み.

小林奈央、中下愛実、野澤まゆ、堀 寧、山田徹、五十嵐洋子、内藤厚子、倉林工。

- 4) 第 66 回日本感染症学会東日本地方会学術集会。第 64 回日本化学療法学会東日本支部総会 合同学会。平成 29 年 10 月 31 日 (火) ~11 月 2 日 (木)。京王プラザホテル (東京都)。

脊椎関節症術後創部より検出された CRE に対しチゲサイクリン (TGC) を使用し治療に難渋した 1 例。

坂井孝行、伊藤敦子、中下愛実、金光美穂、塩原悠貴、大石昌典、手塚貴文、塚田弘樹。

- 5) 第 6 回日本くすりと糖尿病学会学術集会。平成 29 年 9 月 17 日 (日)。星薬科大学 (東京都)。

新潟県薬剤師糖尿病ネットワークの活動報告「精神科医から学ぶ！解決志向型治療」。

丸山歩、稲月幸範、金光美穂、須藤志帆、瀬野雄太、長井一彦、原 栄子、山田徹。

- 6) 新潟県がん診療連携協議会平成 29 年度 第 1 回研修教育部会。パネルディスカッション。平成 29 年 10 月 28 日 (土)。

新潟大学医歯学総合病院大会議室。

「病院におけるがん専門・認定薬剤師の育成について」。

田中裕子、堀 寧。

- 7) 平成 29 年度北関東・甲信越 HIV/AIDS 薬剤師連絡会議。平成 29 年 12 月 23 日 (土)。新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」。

「新潟市民病院の現状と薬剤師の取り組み」。

内山真里子。

9)

- 10) 第 32 回日本中毒学会東日本地方会。平成 30 年 1 月 20 日 (土)。山形テルサ アプローズ (山形市)。

波多野巨、平良木由布、島田祐子、川上陽介、堀 寧、広瀬保夫。

- 11) 日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2018。パシフィコ横浜 (横浜市)。

村山佳那子、平良木由布、藤田詩織、村越真人、田中裕子、堀 寧、山田徹、大谷哲也、片柳憲雄。

平成 30 (2018) 年 研究実績

【著書】

【論文】

【学会発表】